

ハッピーハッキング!

Happy Hacking!

初の ETAS ハッカソンが本部で開催

ウィキペディアによると「ハッカソン（別名ハックデー、ハックフェスト、コードフェスト）とはソフトウェア開発分野のプログラマやグラフィックデザイナー、ユーザインタフェース設計者、プロジェクトマネージャらが集中的に作業をするソフトウェア関連プロジェクトのイベント」です。さらに続けて「単に教育や社会的な目的を意図で開催されるが、使用に耐えるソフトウェアの開発や既存のソフトウェアを改善することを目標としている場合もある」と説明されています。

このようなイベントが先日開催されました。シュトゥットガルトのフォイエールパッハにある ETAS 本部で、弊社のソフトウェア開発部が初めてのハッカソンを主催しました。弊社の同僚たちは、日々の仕事の領域を越えた創造力と既成の枠組みにとらわれずに考える機会を強く求めていました。この願望を ETAS の経営陣は真剣に受け止めました。さまざまなテーマが寄せられて議論され、この 1 日限りのハッカソンのためにチームが結成され、25 名の同僚たちが参加しました。「バラエティ豊かなテーマと成果のクオリティに夢中になります」と ETAS のソフトウェア開発部長の Dr. Alexander Burst は話し、さらに「しかも、各チームがとてもよくまとまっていて、グループ同士がうまく協力し合っていたことに感銘を受けました。今回のハッカソンは一つの試みとして企画されましたが、好意的な反応が多かったので、今後も必ず進めていきます」と続けました。

他薦でノミネートされた優勝チームは、自動車領域の電子制御装置向け組み込みソフトウェアをモデルベースで開発する先進製品の ETAS ASCET を拡張して、Arduino および Lego Mindstorms という 2 つの新しいプラットフォームでできるようにしました。これらのプラットフォームは共に大学、そして「おたく」たちや発明家たちの間で特に人気があります。チームはシンプルな全自動運転機

能を使用して 2 台の模型自動車を動かすことにより、その成果を示しました。「この実演に基づき、私たちは ASCET と ETAS ブランドを若いエンジニアたちに理解させる革新的なソリューションを組み立てることができるようになりました。この企画は長い目で見れば利益を生むことになるでしょう」と、プロジェクト創始者の Abhik Dey および Timon

Reich は話していました。彼らが近い将来に取り組むことになるテーマはこれだけではありません。「ハッピーハッキング!」の調子で進めていきます。

執筆者

Wolfram Liese
ETAS GmbH
視覚化・最適化
ソフトウェア
グループリーダー

Dr. Peter Wegner
ETAS GmbH
INCA コアソフトウェア
開発グループリーダー



優勝チーム：Holger Ruf、Frank Beckmann、Patrick Engel、Abhik Dey、Timon Reich